

子どもたちの感性を育む 芸術・文化教育について

平成28年8月16日
第13回教育懇談会

目 次

第 1	学校教育における芸術・文化教育について	
1	学習指導要領における位置づけ	1
	（資料 1）学校における授業時間の推移	
2	愛知県立高等学校（芸術専門学科）	3
	（資料 2）美術系学科設置の高等学校数	
	（資料 3）県立旭丘高等学校美術科卒業生進路	
	（資料 4）音楽系学科設置の高等学校数	
	（資料 5）県立明和高等学校音楽科卒業生進路	
	（参考）愛知県立芸術大学	8
	（資料 6）愛知県立芸術大学 卒業生の進路	
第 2	県行政における芸術・文化教育について	
	「文化芸術創造あいちづくり推進方針」	
	（1）内容	10
	（2）主な取組状況	11
	（資料 7・8）小学校における美術鑑賞に関する取組例	
	（資料 9）文化学習に関する取組例	
第 3	芸術・文化教育の課題、今後の方向性	15

第1 学校教育における芸術・文化教育について

1 学習指導要領における位置づけ

◆ 次期学習指導要領改訂の動き

- ・ 文部科学省で検討中
- ・ 平成28年度内に、中央教育審議会より答申が出される予定

※ 小学校(32年度)、中学校(33年度)、高等学校(34年度)から実施予定

(1) 育成すべき資質・能力について

- 知識に関するもの、スキルに関するもの、情意(人間性など)に関するものの三つに大きく分類
学校教育法第30条第2項が定める学校教育において重視すべき三要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」を**三つの柱**で整理する。
 - i)「何を知っているか、何ができるか(個別の知識・技能)」
 - ii)「知っていること・できることをどう使うか(思考力・判断力・表現力等)」
 - iii)「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等)」

(2) 芸術系科目の方向性

- グローバル化する社会のなかで、芸術を学ぶことを通じて感性等を育むことなどにより、日本文化を理解して自国の文化を語り継承することができるようにするとともに、異文化を理解し多様な人々と協働していくことができるようになること
- 幼児期に育まれた豊かな感性と表現等の基礎の上に、小・中・高等学校教育を通じて育成すべき資質・能力を、三つの柱に沿って明確化し、各学校段階を通じて、創造的に表現したり鑑賞したりする力の育成、育成すべき資質・能力の相互の関連や学習内容との関係を一層明確にした主体的で創造的な学習活動、生活や社会における音楽、造形、美術、書などの文化に関する学習活動の充実等を図り、豊かな情操を養っていくこと。

◆学校における【芸術科目】の授業時間数の推移と学習指導要領の改訂

改訂年度	小1	中1	高1	改訂のポイント
昭和	3	4	6	教育課程の基準としての性格の明確化
33～35年	24	32	34	(道徳の時間の新設、基礎学力の充実、科学技術教育の向上等) (系統的な学習を重視)
昭和	3	4	2	教育内容の一層の向上(「教育内容の現代化」)
43～45年	24	34	34	(時代の進展に対応した教育内容の導入)(算数における集合の導入等)
昭和	2	4	3	ゆとりある充実した学校生活の実現＝学習負担の適正化
52～53年	25	30	32	(各教科等の目標・内容を中核的事項に絞る)
平成	2	4	3	社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成
元年	25	30	32	(生活科の新設、道徳教育の充実)
平成	2	2.6	2	基礎・基本を確実に身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などの[生きる力]の育成
10～11年	23	28	30	(教育内容の厳選、「総合的な学習の時間」の新設)
平成	2	2.6	2	学習指導要領のねらいの一層の実現(例:学習指導要領に示していない内容を指導できることを明確化、個に応じた指導の例示に小学校の習熟度別指導や小・中学校の補充・発展学習を追加)
15年 (一部改訂)	23	28	30	
平成	2	2.6	2	「生きる力」の育成、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成のバランス
20～21年	25	29	30	(授業時数の増、指導内容の充実、小学校外国語活動の導入)

学校5日制の
順次実施

※ 表中の数値について【上段;芸術科目の授業時間数(週あたり)】/【下段;総授業時間数(週あたり)】

小中学校の授業時間数は学習指導要領では総合計で示されているので、比較のため年間を35週として換算
芸術科目について、小学校は音楽と図画工作、中学校は音楽と美術が対象で、授業時間数は2科目の合計
高等学校の必修科目は音楽、美術、工芸、書道のうちから1科目を選択。授業時間数は必修単位数で計算

2 愛知県立高等学校(芸術専門学科)

(1) 旭丘高等学校(美術科;昭和25年設置 H28.4.1現在1学年1クラス40名が在籍)

○ 目標

旭丘高校の教育方針である全人的感性教育を目指すとともに、広く美術全般にわたって基礎的な知識・技能を習熟させること。

○ 主な活動

- ・「旭美展」(3年生)、会場:愛知県美術館(愛知芸術文化センター)
- ・古美術見学旅行(2年生)、京都・奈良方面を中心に古美術研究に行く。

○ 主な卒業生

- ・飯田史朗いいたしろう(日本画家、白士会委員)
- ・平松礼二ひらまつれいじ(日本画家、2000年より「文藝春秋」表紙画担当)
- ・田村能里子たむらのりこ(洋画家・壁画家、壁画多数※名古屋 JR セントラルタワーズなど)
- ・亀谷政代司かめたにまさよし(彫刻家、日展会員、日本彫刻会員、瀬戸市文化協会会長)
- ・名倉鳳山なぐらほうざん(硯刻家、新城市指定無形文化財保持者)

(2) 明和高等学校(音楽科;昭和25年設置 H28.4.1現在1学年1クラス40名が在籍)

○ 目標

音楽全般の基礎とともに、高度な専門的技術を身につけさせること。
また、感性と知性を磨き、すぐれた演奏家、音楽指揮者となる基礎を築かせること。

○ 主な活動

年2回の演奏会(サマーコンサート、定期演奏会)、会場:しらかわホール

○ 主な卒業生

- ・松尾葉子まつおようこ(指揮者・普通科)
- ・池田京子いけだきょうこ(ソプラノ、武蔵野音楽大学講師)
- ・小櫻秀爾こざくらしゅうじ(作曲家)
- ・水野佐知香みずのさちか(ヴァイオリニスト、洗足学園大学教授)
- ・清水皇樹しみずこうき(ピアニスト、名古屋音楽大学准教授)
- ・田村響たむらひびき(ピアニスト)
- ・谷津理恵子たにづりえこ(ソプラノ、明和高校音楽科主任)

(資料2)

◆美術系学科設置高等学校数(全国比較)

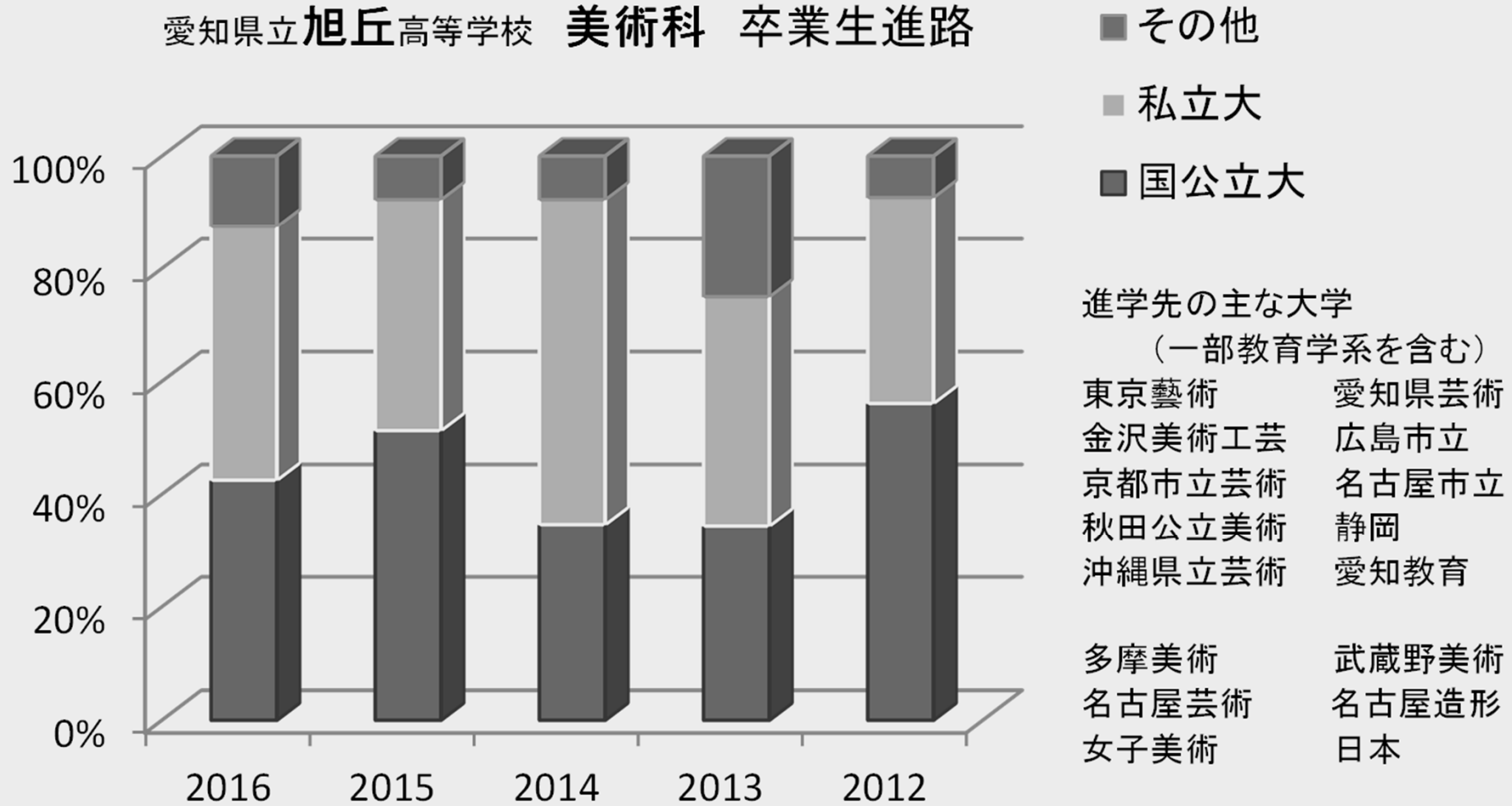
設置校数	設置されている都道府県				
8校	東京	大阪			
6校	埼玉	静岡	福岡		
4校	神奈川	京都			
3校	栃木	千葉	石川	兵庫	
2校	北海道	宮城	福島	茨城	長野
	愛知	奈良	佐賀	宮崎	
1校	青森	秋田	群馬	富山	山梨
	岐阜	三重	滋賀	和歌山	岡山
	徳島	香川	愛媛	高知	長崎
	熊本	大分	鹿児島	沖縄	
なし	岩手	山形	新潟	福井	鳥取
	島根	広島	山口		

愛知県内の高等学校
 県立 旭丘高等学校
 私立 東邦高等学校

注:美術科、デザイン科等の名称で学科を設置している学校のうち、主として専門学科において開設される教科美術に属する科目を多く履修させている学校を抽出。一部総合学科を含む。

(資料3)

愛知県立旭丘高等学校 美術科 卒業生進路



(資料4)

◆音楽系学科設置高等学校数(全国比較)

6

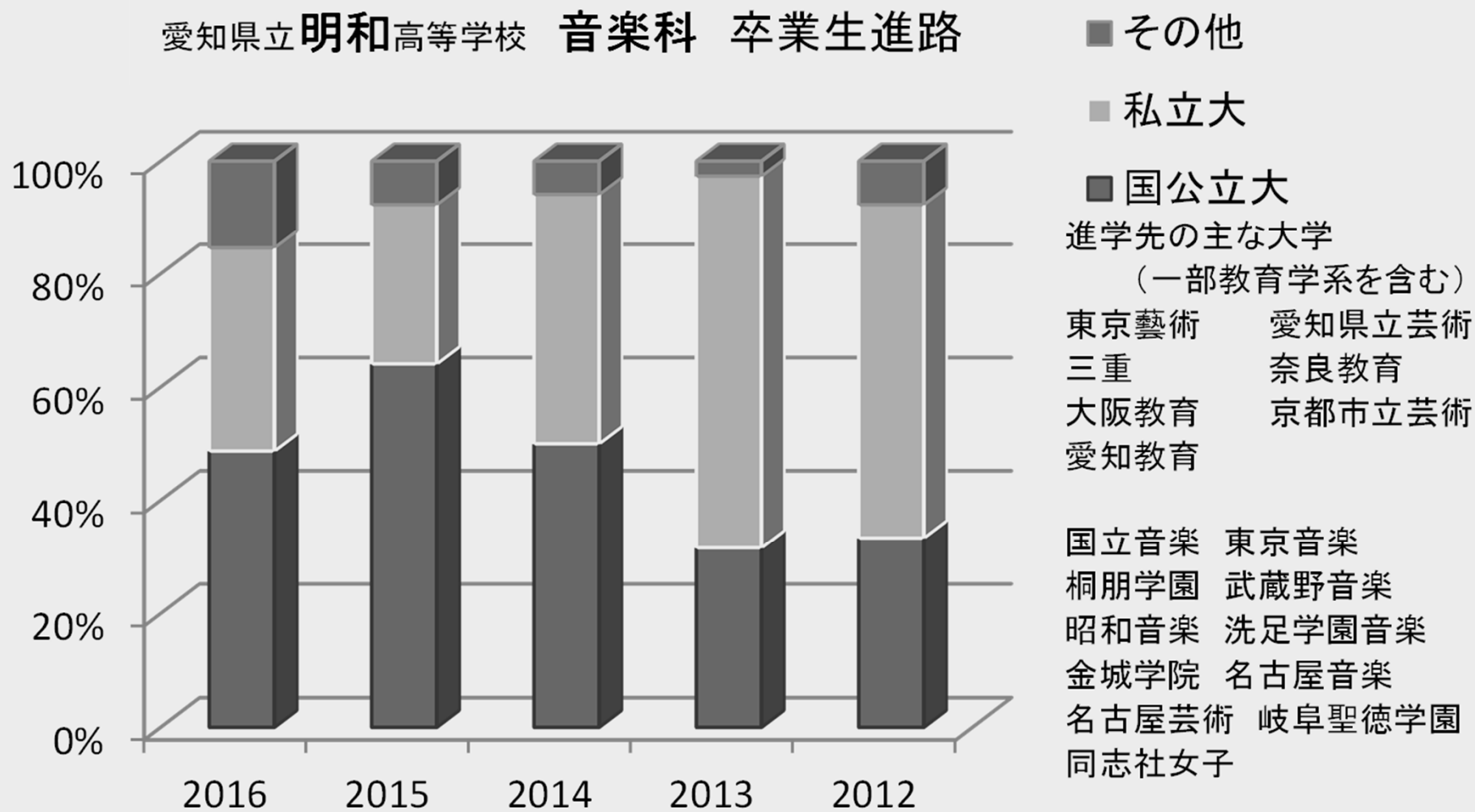
設置校数	設置されている都道府県				
8校	東京				
5校	埼玉		静岡		
4校	愛知				
3校	茨城				
2校	北海道 大阪	青森 兵庫	福島 香川	群馬 福岡	神奈川
1校	宮城 山梨 奈良 鹿児島	山形 長野 山口 沖縄	栃木 岐阜 徳島	千葉 滋賀 高知	新潟 京都 大分
なし	岩手 三重 広島 宮崎	秋田 和歌山 愛媛	富山 鳥取 佐賀	石川 島根 長崎	福井 岡山 熊本

愛知県内の高等学校
県立 明和高等学校
市立 菊里高等学校
私立 同朋高等学校
私立 桜丘高等学校

注:音楽科、音楽専攻等の名称で学科を設置している学校のうち、主として専門学科において開設される教科音楽に属する科目を多く履修させている学校を抽出。一部総合学科を含む。

(資料5)

愛知県立明和高等学校 音楽科 卒業生進路



(参考) 愛知県立芸術大学

① 大学の概要

昭和41年開設。現在は、愛知県公立大学法人が運営し、美術学部・音楽学部の2学部と美術研究科・音楽研究科の2研究科を設置している。

② 大学の理念

- ・ 学部から大学院までの一貫した教育研究体制をとることにより、芸術家、研究者、教育者など芸術文化に携わる優れた人材の育成を目指す。
- ・ 広い視野を持った高度な芸術教育を通して、国際的な芸術文化の創造の核となることを目指す。
- ・ 教育・産業・生活文化など様々な分野で県立芸術大学の持つ芸術資源を有効に活用し、地域社会と連携して、芸術文化の発展に貢献することを目指す。

③ 特徴的な教育研究活動の状況

- ・ 美術学部と音楽学部の複合プロジェクト「オペラ公演」
- ・ 国内外の著名なアーティストの滞在型の招聘事業の実施
- ・ 国宝・文化財の模写及び保存修復研究の推進
- ・ 小中学校等への演奏派遣、講師派遣、子ども向けの公開講座の開催

④ 主な卒業生

○ 美術学部

- ・ まつむらこうじ 松村公嗣 (日本画家) ※現学長 月刊文藝春秋の表紙絵を担当
- ・ ならよしとも 奈良美智 (ポップアート作家) ニューヨーク近代美術館に作品所蔵
- ・ かとうよしお 加藤芳夫 (産業デザイナー) サントリー飲料「BOSS」パッケージデザイン

○ 音楽学部

くのあきこ

・久野綾希子（女優） 元劇団四季

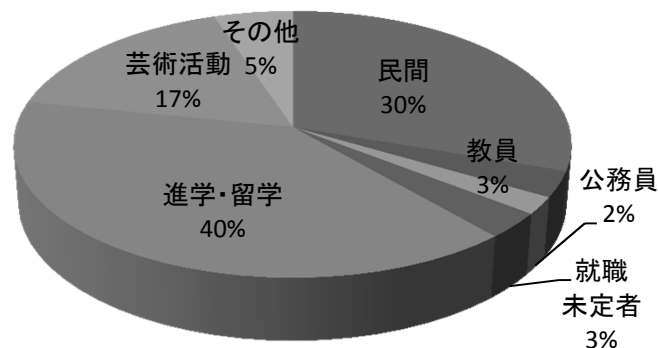
だいもえりこ

・大茂絵里子（マリンバ奏者） 世界各地のコンクールで優勝・入賞多数

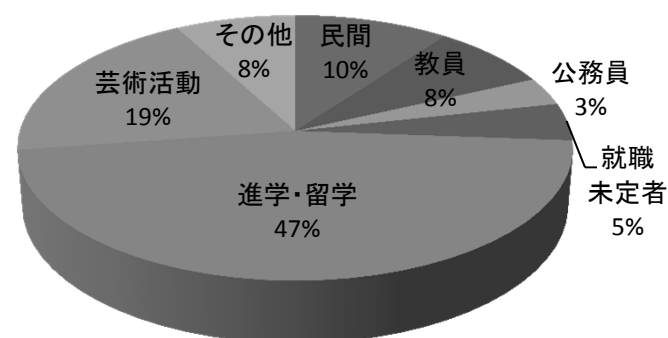
（資料6）

◆愛知県立芸術大学 卒業生の進路（平成27年5月1日現在）

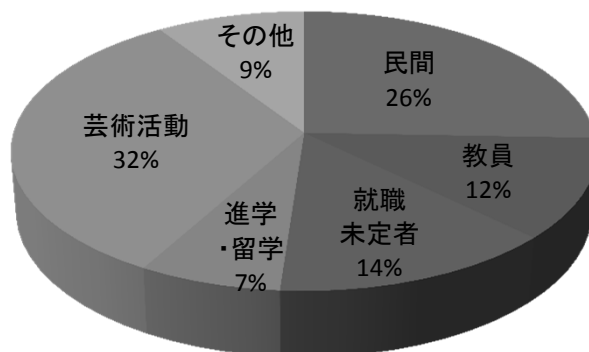
美術学部



音楽学部



美術研究科(前期)



音楽研究科(前期)

